

## 2024年度（令和6年度）第3回 安全衛生・CS WG 議事要旨（案）

I. 日 時 : 令和6年7月8日（月） 15:00～17:00

II. 場 所 : 木住協6階会議室

III. 出席者（敬称略）欠席者はアンダーライン（出席者10名）

委員長 : 秋本 正人（住友林業（株））

リーダー : 瀧澤 哲也（住友林業（株））

委員 : 谷口 哲哉（（株）日本ハウスホールディングス）、楡井 洋（古河林業（株））、  
杉山 勝也（ポラテック（株））、濱田 龍二郎（（株）AQ Group）、  
嶋田 味穂（大和ハウス工業（株））

オブザーバー : 武永 祐嗣（㈱プラネックス）

事務局 : 鈴木 保宏、松澤 ひろ美

## 【議事事項】

1. 前回議事録の確認 (資料1)

・事務局で読み上げ、修正なし。

2. 生産技術委員会 YouTube セミナー動画視聴回数（6/30 現在） (資料2)

「ヒューマンエラーによる墜転落災害の防止策」の視聴が4月度の  
171回をピークに5月、6月と下がってきてはいるが、三桁の視聴回数を維持している  
また、「現場管理者」関連の視聴も減少傾向ではあるが、一定数視てもらえていると  
いうことが、いいのではないかと。

3. 化学物質の性状に関連の強い労働災害の分析結果

項目（5）の建築工事業の事例紹介 (資料3)

「建築工事業」は業種別の資料では、「食料品製造業」「化学工業」「清掃・と畜業」  
「金属製品製造業」などに続き、5番目に多い職種となっている。  
また、事例にあるガスとは、屋内（ガレージ等）でのエンジン研磨機使用による  
一酸化中毒などがあげられる。  
その他、今後、住団連で情報ができれば、安全WGで展開する。

- 1) 修正部分について、プラネックス武永様より説明。

## 丸のこ作業の安全

P2 文字のみ修正、反発（キックバック）を入れた。

P4 三コマ目右、イラストはラフ、

表現を変更「正しくは 材を作業台や受け材に水平に固定し、丸のこを両手で持って平行定規を使って切断します。」

四コマ目右、イラストは未修正

表現を変更「小ものは同じ高さの共材をかませ、両方の材の上に押さえ材を置き、クランプで押さえて固定し切断します。」

卓上丸のこのシーンがあるが、この部分だけ卓上丸のこに変えるのか、このままで文字だけかえるかを検討。

丸ノコ定規のイラストも、再確認。

P5 上の2つは、反発を入れて、「曲がり、反発しやすく」とした。

傾斜して切断する時の文を変更。

反発のメカニズムを全体的に変えて具体的に書いたので検討いただきたい。

P7 発砲プラスチック系断熱材使用を推奨まではいかないが、現場の工夫として掲載してはどうか。

日立工機は上記、推奨 OK、マキタは慎重で建災防のやり方（受け材を置いてやる）

の範囲で教えている。推奨はしていないが、プラネックスのビデオも発砲プラスチック系材を置いて、丸のこで材を切っているシーンが出てくる。特に何の問題もなかったなのでこの文面でよいのでは。

電圧効果をこの文に差替えた。

P8 ②「停止点」を「元の位置までもどる」と表現を変えた

③左下・右下の写真～文章を追加（具体例）、写真を追加

④ロックレバーの文書を追加・写真を訂正

P9 ⑤カーボンブラシの減り具合は大丈夫か？を追加、交換の手順で2個同時に取り替えることを追記。

下段 この歯を知ることで、反発を低減できる！部分を縮小

2) 新たに、10P から検証

P10 題目 「釘がささったまま～飛来する」

※目に異物が刺さった時は 30P 参照の、30P を見ると、  
目に紙コップを当てて、包帯で固定とある。理屈はその通りだが、  
実際、現場でこれが、できるのかどうか。

(現実的ではないのでは？→ 全体的ボリュームをみて掲載内容調整)

P10 「丸のこを裏返して～直撃」

現状、丸のこ自体、コードレスが多くなってきている。  
屋根もタルキの上ののって、上から切るのが多いのでは。(昔は墨だし後)  
建災防事例では、グラインダーの上向き作業事例はあった。  
作業姿勢が悪いのは問題。

P10 「破風板を斜に～指を切断」

斜め切り材がはねるので、注意

P11 「止めたと～クサビで止められていた」

クサビで止められたケースは、まだ見受けられるが、床に置いた丸のこが  
暴れ出したケースは、最近聞かない。

丸のこの置き場って、各社作っていますか？

→ ほぼ、各社作っていない。

→ S 社さん仮筋 4 本で簡単に作成でき、安全上も有効で、作業的にも効率的。

P11 「丸のこ作業中、散乱した～手を切傷」

丸のこ、現状、コードレスが多く、バッテリー、パワーもアップしたものが  
増えている。写真は最近のものに、入れ替え。

P11 「屋外で～感電する」

過去に、事例はあるが、最近はあまり聞かない

最近の丸のこは、樹脂製なので、二重絶縁はできている。

最近の事例では、手持ち切り (SD 業者の胴縁切、型枠大工施工時含む)、

卓上丸のこによる、長モノ切断時等、よく聞くので、「丸のこ暴れ」、「作業中感電」事例  
スペースのところを差し替える。(プラネックス様)

P12 現状のまま。

P13～P15

言葉の訂正

釘の「暴発」→ 釘の「誤射」

とする。

釘打機

「連発打モード」 → トリガーを引いた状態で、壁に当てると発射。

「単発打モード」 → 壁に押しあてた状態で、トリガーを引くと1本発射。

このモードで、釘を1本打った後、再びコンタクトアームを  
壁に当てても釘は発射されない。

(壁に当て込んでから、再びトリガーを引かないとダメ)

P14「作業者はなぜ、作業中に「エアホース」をはずさなかったのか？」

の設問と、P15の内容が合わない部分もある。

P14、設問が「作業者はなぜ、誤射してしまったのか？」で

P15、「対策ができていなかった3つの習慣」等、内容を吟味、訂正していく。

#### 【次回WGの予定】

・令和6年度 第4回安全衛生・CS WG

日時：令和6年9月9日（月）15：00～17：00

場所：木住協 6階 会議室

以 上